

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金			整理番号	602		枝番号							
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	626				
係名				交通対策係				上位施策名		No					
予算事業名				交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進		6				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		40年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 平成15年度交通安全協会補助金交付要綱								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 平成15年度杉並区交通安全協議会補助金交付要綱								
	・補助金・・・杉並・高井戸・荻窪交通安全協会、杉並区交通安全協議会 ・分担金・・・杉並区交通安全のつどい主催団体（区・警察・交通安全協会）				(3) 地方自治法第2条第3項										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				・各交通安全協会に対して、補助金を交付する。（交通安全協議会についても同じ） ・区、警察、交通安全協会共催で、杉並区交通安全のつどいを杉並公会堂で年1回開催する。								事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動を積極的に実施する。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催する。			
活動指標名(式)				(1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数 (2) 杉並区交通安全のつどい参加者数								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内の交通事故件数 (2) 交通安全協会加入者数・団体数			
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績	計画		年度						
指標	活動指標(1)		日	270	276	276	279	279							
	活動指標(2)		人	1,100	1,100	580	580	900							
	成果指標(1)		件	3,392	3,272		3,215								
	成果指標(2)		件	2,662	2,432		2,330								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,324	5,324	5,324	5,324	5,324		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成15年度の杉並区交通安全のつどいは、会場が杉並公会堂からセッション杉並へ移ったため、実績の参加者は減となっている。					
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.27	0.34	0.27	0.33	0.27							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,428	3,058	2,428	2,968	2,428							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	7,752	8,382	7,752	8,292	7,752							
	単位あたりコスト ÷		円	28,711	30,370	28,087	29,720	27,785							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	7,752	8,382	7,752	8,292	7,752								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	101.1	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%		100.0						
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			補助金については、現状を維持した。 杉並区交通安全のつどいについては、会場が杉並公会堂からセッション杉並に移ったため、参加者の入退場方法・進行・人員配置等について警察・交通安全協会と見直しを行い、開催した。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の交通事故件数 平成2年・・・1,749件 平成15年・・・3,215件 ・交通安全協会加入者・団体数 平成7年度・・・3,195人 平成15年度・・・2,330人	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の増額要請がある。	
	今後の予測	今後、景気が回復せずに不況が続くと、更に交通安全協会加入者・団体数が減少すると考えられる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	貢献度 大(理由) <input type="button" value="▼"/>	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区内全域で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している交通安全協会の協力が必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^) <input type="button" value="▼"/>	理由：
	協働等は実現しているか	十分に実現している(^) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容：既に、交通安全協会員は協会運営費を負担している。また、交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しており、経費も分担金制をとり、各交通安全協会も経費を負担している。
	協働等の相手	社団法人・財団法人等公益団体(^) <input type="button" value="▼"/>	
	協働等の主な形態	補助・助成(具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	ある程度できる() <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容：補助金については、16年度から交付対象の中に杉並区が特に要請する交通安全事業を加えたため、より多くの成果が期待できる。 平成15年度から17年度までの杉並区交通安全のつどいについては、杉並公会堂が改修中のため、会場について検討するとともに、内容等を見直していく。
(4) 受益者負担の見直し余地は	ない(理由) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容：既に、交通安全協会員は協会運営費を負担している。また、杉並区交通安全のつどいの経費も分担金制をとり、各交通安全協会も経費を負担している。	
(5) コストを下げる余地はあるか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容：交通安全のつどいについては、開催内容の見直しを行うことにより、コストを下げることは可能ではある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 補助金については、現状を維持する。16年度から補助金交付対象事業の中に杉並区が特に要請する交通安全事業を加えたため、より多くの成果が期待できる。 平成15年度から17年度までの杉並区交通安全のつどいについては、杉並公会堂が改修中のため、会場について検討するとともに、内容等を見直していく。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交通安全のつどいについては、警察・交通安全協会と企画の段階から見直す必要があるため、協議を行い、調整する必要がある。
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 杉並区交通安全のつどいについては、平成18年度より再び杉並公会堂を会場として開催する予定である。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託				整理番号	603		枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	627	
係名				交通対策係				上位施策名		No	
予算事業名				交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				8年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 交通安全対策基本法第18条第2・3項						
	杉並・高井戸・荻窪地域交通安全活動推進委員協議会				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 違法駐車防止活動や高齢者に対する交通安全啓発活動を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・道路の適正な使用を啓発し、違法駐車を減少させる。 ・高齢者の交通安全意識を向上させ、高齢者の交通事故を防止する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数				(1) 区内における違法駐車台数							
(2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数				(2) 区内における高齢者の交通事故件数							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		時間	543	543	543	543	543			
	活動指標(2)		人	467	355	355	418	418			
	成果指標(1)		台	2,975	2,903		2,545				
	成果指標(2)		件	440	478		498				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494	494	495	494	495	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	494	494	495	494	495			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.27	0.34	0.27	0.33	0.27			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,428	3,058	2,428	2,968	2,428			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,922	3,552	2,923	3,462	2,923			
	単位あたりコスト ÷		円	5,381	6,541	5,383	6,376	5,383			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,922	3,552	2,923	3,462	2,923				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	117.7	15年度予算執行率%	99.8	地域交通安全活動推進委員協議会は、違法駐車防止活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を委託契約どおり実施した。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			より効果があがるように、委託契約の内容を検討していく。具体的には、平成16年度の委託契約に「自転車の安全利用に関する啓発」を加え、交通実態に即し効果のある内容としている。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の違法駐車台数 平成8年…3,722台 平成15年…2,545台 ・区内の高齢者人口 平成8年…74,172人 平成15年…89,958人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成8年…214件 平成15年…498件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	二輪車の違法駐輪が多くなってきている。また、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多い。
	今後の予測	一人ひとりの交通安全意識の向上がなければ、今後も違法駐車の問題は発生すると考えられる。一方、今後、更に高齢者人口が増加(平成17年予測91,651人)し、高齢者の交通事故も増加すると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：違法駐車が渋滞や交通事故が発生する1つの原因であること、また、高齢者の交通事故が急増していること、それらを改善するために実施する交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由：
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容：当該事業は特殊な性質があり、違法駐車防止活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を適切に行える団体として、各警察署との協力関係が強い当該地域交通安全活動推進委員協議会と協働して事業を進めている。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：委託契約を毎年見直し、時代に合った交通実態に即した内容とすることで、効果を向上させる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性質上、受益者負担はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：実際に活動した時間に対してのみ、対価を払っているので、コストを下げることはできない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より効果があがるように、委託契約の内容を検討していく。具体的には、平成16年度の委託契約に「自転車の安全利用に関する啓発」を加え、交通実態に即し効果のある内容としている。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現行委託契約による交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために有効である。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布				整理番号	604		枝番号					
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	628			
係名 交通対策係					上位施策名					No				
予算事業名 交通安全運動推進					コード	61700		交通安全の推進					6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度					根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理					(1) 地方自治法第2条第3項								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び道路利用者の生命・財産					(2) 交通安全対策基本法第18条第2・3項								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 交通安全啓発用品を購入し、区民に配布する。 横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。					(3)								
	活動指標名(式)					事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、正しい交通ルール・マナーを実践してもらう。								
(1) 交通安全啓発用品配布数					(1) 交通安全啓発用品配布数 / 杉並区区人口									
(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数					(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数 / 区内の道路延長(km)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		個	32,800	33,983	25,500	35,090	25,500						
	活動指標(2)		流	85	75	84	82	84						
	成果指標(1)		%	6	7	5	7	5						
	成果指標(2)		数 / 100 km	11	10	11	11	11						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,403	5,440	5,445	5,425	5,529	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	1.74	2.13	1.71	2.06	1.71						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	15,650	19,157	15,380	18,528	15,380						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	21,053	24,597	20,825	23,953	20,909						
	単位あたりコスト ÷		円	642	724	817	683	820						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0				
差引:一般財源 -		千円	21,053	24,597	20,825	23,953	20,909							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	137.6	活動指標(2)の15年度達成率%	97.6	15年度予算執行率%	99.6						
			横断歩道用横断幕や標示幕による啓発だけでなく、交通安全啓発用品を購入し、区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の交通事故件数 平成8年…2,068件 平成15年…3,215件 ・杉並区民の人口 平成8年…501,316人 平成15年…510,952人 ・区内の道路延長(km) 平成8年…746km 平成15年…752km
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	交通ルール・マナーをもっと周知・徹底してもらいたい。特に、自転車の安全走行の啓発への要望が多い。交通安全啓発用品の配布数を増やしてもらいたい。
	今後の予測	車両保有台数・運転免許保有者数の増加や交通量の増加から、道路交通は過密・混合化が生じ、また、生活様式の変化、生活の24時間化、更に基本的な交通ルール・マナーの欠如が複雑に絡み合い、厳しい交通環境が続くと考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区民及び道路利用者の交通安全意識の向上が不可欠であり、そのためには、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(へ)	理由：
	協働等は実現しているか 十分に実現している(へ)	理由または具体的内容：各警察署・各交通安全協会が行う交通安全キャンペーン等で使用する啓発資材の一部については、区で費用負担し配布している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(へ)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容：関係機関と協議することにより、より効果的で実用的な啓発用品を選定する。また、平成16年度から「自転車安全走行キャンペーン」を区内各箇所で行い、その際は効果的な啓発資材を用意して実施している。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性質上、受益者負担はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、環境にやさしい素材を使用した啓発用品を購入する。 より効果のある実用性が高い啓発用品を購入する。 また、平成16年度から「自転車安全走行キャンペーン」を区内各箇所で行い、その際は効果的な啓発資材を用意して実施している。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全モデル地区整備計画				整理番号	605		枝番号		
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	629	
係名 施設整備係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全運動推進					コード	61700		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				5 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第2項第8号						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 交通安全対策基本法第18条第1.2.3項						
	井草四・五丁目の一部と上井草一・二丁目及び三丁目の一部の地区内道路、道路利用者及び地域住民				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 「地区交通安全計画」に基づき、交差点の改良・道路標識の改修等を行い、また、交通安全の普及啓発を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 交通安全の普及啓発や歩車共存道路等を整備することにより、安全で良好な生活環境が確保され、歩行者などによる交通事故が減少する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 交差点改良の箇所数				(1) 交差点改良の整備率							
(2)				(2)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		17年度				
指標	活動指標(1)	箇所	2	5	0	0	0	11	0.0		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	18	64	64	64	64	100	64.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,599	9,780	243	237	258	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の目標値は「累計」。15年度までの累計:7箇所		
	(内)委託費		千円	92	0	187	186	187			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.35	0.20	0.20	0.05			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,497	3,148	1,799	1,799	450			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	13,096	12,928	2,042	2,036	708			
	単位あたりコスト ÷		円	6,548,000	2,585,600						
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	1,184						
		特定財源計 +		千円	1,184	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	11,912	12,928	2,042	2,036	708				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		97.5			
		交通安全啓発活動を行うとともに、標識(案内板)を改修し、交通事故防止を図った。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	対象地区は通過交通の流入により、車対人、車対自転車の交通事故が多く発生していた。平成9年に地域交通安全連絡会が発足し、交通安全意識の向上を図ってきたが、依然として交通事故は多い。継続的に交通安全に対する啓発活動を行うとともに、交差点の改良や道路標識の改修を行った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成9年に地域住民の代表を中心とした「地域交通安全連絡会」が発足され、区と警察署がこの地区の交通安全施策について検討を行った。これに基づき平成11年に「地域交通安全連絡会」から、道路構造の改良、交通安全意識の高揚や交通規制などを総合的にとらえた「地区交通安全計画の提案」が提言された。
	今後の予測	平成15年は交通事故も若干減少したが、さらなる交通安全意識の高揚や事故防止のための交通安全施策を進めていく必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 交差点の改良や道路標識の改修により、交通事故防止が図れる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識(案内板)改修に関わる工事請負(案内板設置工事)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 施工にあたり、工法やコスト削減について検討する。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 総合的な交通安全対策は交通管理者(警察署)と共に、基礎的自治体である区が行う必要があるため、受益者負担は不相当である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 交差点の改良や道路標識の改修については、建設コスト縮減実施行動計画により既に見直しを実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事故の多い高齢者、小学生を対象に今まで以上に交通安全教室・啓発事業に力を入れて交通事故防止に努めていく。交差点改良等の点的整備の目途が立ったため、他事業による歩車共存道路整備等の線の整備に移行していく。その際、関係機関・警察署等との調整を図るとともに、補助事業に導入が見込める。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	交差点改良等の点的整備が概ね目途がたったため、ハード面での事業縮小が見込まれる。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修				整理番号	617		枝番号			
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	645	
係名				交通安全施設係				上位施策名		No		
予算事業名				交通安全施設維持補修		コード	61900		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				36 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8項							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第42条							
	区が管理する道路の利用者				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鉄の清掃を行う。配電型交差点鉄の電気料金を支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持することにより、道路利用者の安全を確保する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 修理件数(反射鏡・防護柵・標識)				(1) 稼働率 = (管理数 × 365日 - 修理件数 × 修理日数) / (管理数 × 365日) × 100								
(2)				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		件	543	605	499	564	600				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	55,403	54,482	50,474	49,196	46,438	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) H15年度修理対象管理数 ・反射鏡6,090面 ・防護柵12,227基(3m/基換算) ・標識1478枚 H15年度修理件数 ()内は箇所あたり修理日数 ・反射鏡418件(3.5日) ・防護柵107件(18日) ・標識39件(9.9日)			
	(内)委託費		千円	52,931	51,852	48,623	47,524	44,657				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.24	2.45	2.66	2.62	2.41				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	20,147	22,035	23,924	23,564	21,676				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	75,550	76,517	74,398	72,760	68,114				
	単位あたりコスト ÷		円	139,134	126,474	149,094	129,007	113,523				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	75,550	76,517	74,398	72,760	68,114					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	113.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	97.5				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・事故などにより破損したガラス製鏡面は、ステンレス製鏡面に改良している。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 557 40,489m H4 39,375m H15 36,846m ・道路反射鏡 3,386本 4,327本 4,790本 ・道路標識 1,632本 1,849本 1,478本
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	交通安全施設の補修に対する要望が多く、また緊急性のある補修要望も多い。
	今後の予測	交通安全施設の整備設置が進んでおり、今後は大幅な交通安全施設の増加はない。よって維持補修工事による補修件数についても現状維持若しくは微増で推移するものと予測する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路交通の安全を確保するためには、交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは重要なことである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行なう。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 交通事故による施設破損の安全対応などを職員が、第一義的に緊急対応することで委託業者が現場到着までの安全を確保する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡鏡面の交換に際しては、従来のガラス製鏡面を耐久性の高いステンレス製に改め、事故損傷などによる交換頻度を少なくすることにより、鏡面を寿命を伸ばす。これにより、将来の補修経費の減少及び廃棄物による環境負荷の軽減を今後も行なう。 ・平成16年度は道路反射鏡鏡面清掃を管理鏡面数の1/2として、汚れなどの影響を点検する。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面の機能向上に伴い初期経費の増加が見込まれる。 ・交通安全施設の清掃の必要性が生じた場合は、その都度必要に応じて対応する。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	・市場単価と見積り単価との整合を図ることから、標準工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良				整理番号	618		枝番号				
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	646		
係名					交通安全施設係			上位施策名		No			
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		43 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条及び85条						
	区が管理する道路の利用者				(3) 道路法施行令第34条の3								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
見通しの悪い交差点や屈折部等に道路反射鏡を新設し、道路の視距を改善する。また老朽化した施設の新設及び改良を行う。				道路利用者に対して十分な視距離を確保して、道路交通の安全を保つ。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 新設・改良数				(1) 整備対応率 = 管理面数 ÷ 交差点面数 × 100									
(2) 管理数値(鏡面数)				(2)									
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	本	101	85	100	86	100						
	活動指標(2)	面	6,027	6,090	6,120	6,149	6,179						
	成果指標(1)	%	34	34	35	35	35						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,103	11,862	12,200	12,185	15,400	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成15年度実績内訳 新設54本 改良32本				
	(内)委託費		千円	14,103	11,862	12,200	12,185	15,400					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.57	0.53	0.64	0.65	0.80					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,127	4,767	5,756	5,846	7,195					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	19,230	16,629	17,956	18,031	22,595					
	単位あたりコスト ÷		円	190,396	195,635	179,560	209,663	225,950					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引: 一般財源 -		千円	19,230	16,629	17,956	18,031	22,595						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	86.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.5	15年度予算執行率%	99.9	・新設要望箇所及び改良必要箇所については、ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・従来のガラス製鏡面は、事故損傷による鏡面の破損が酷く、素早い交換が必要であった。しかし、過去事故の履歴のある鏡面を耐久性の高いステンレス製に改めることによって、交換頻度が減少する方向にある。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H13 = 1174件 H15 = 1131件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・交差点の事故防止のため設置要望が多いが、反面道路利用者が反射鏡に頼りすぎ安全確認を怠るようになるとの意見がある。・歩行者対歩行者、自転車対歩行者についての設置要望がある。・反射鏡設置箇所前の地先住民は将来家屋改築時の施設移設費用の負担や景観の悪化などを理由に設置の理解が得られないことがある。
	今後の予測	・施設の老朽化により必要に応じた改修が必要になる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 見通しの悪い交差点やカーブ地点の視距不足を解消する手段として、交通事故防止効果は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行う。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 耐久性に優れた反射鏡材料を導入することで、事故損傷等による鏡面交換の頻度を少なくする。将来的な補修経費の減少と廃棄物による環境負荷の軽減する。
成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡の新設、更新に際し、従来のガラス製鏡面を耐久性の高いステンレス製に改め、事故損傷などによる鏡面交換の頻度を少なくすることによって、将来的な補修経費の減少と廃棄物排出の減少を図る。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・鏡面の耐久性向上に伴い初期経費の増加が生じるが、鏡面交換の頻度が減少させることで長期的に経費の節減を図る。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図ることから、設計工事費の見直しを行っている。予算の増減は見込まない。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		警戒標識等新設・改良				整理番号	619		枝番号					
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	647			
係名					交通安全施設係			上位施策名		No				
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		36 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8項							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条、第45条、第85条							
	区が管理する道路利用者				(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
交差点、道路の屈曲部、踏切など危険箇所に注意を喚起するための標識、また道路管理者が行う規制箇所に周知するための標識を設置する。更に老朽化した標識の改修を行う。				道路利用者に対して、道路状況や沿道状況、注意の予告、また規制の告示を行うことにより、道路の交通安全を確保する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 新設・改良数				(1) 標識設置度 = 道路延長 ÷ 管理数										
(2) 管理数値(標識板の枚数)				(2)										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績	計画		年度					
指標	活動指標(1)		本	43	34	45	25	15						
	活動指標(2)		枚	1,482	1,478	1,478	1,481	1,481						
	成果指標(1)		m / 枚	449	462	462	462	462						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,219	1,742	2,151	2,031	941		特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成15年度実績内訳 新設本数 3本 改良本数 22本 平成16年4月1日 道路延長 684,512m				
	(内)委託費		千円	2,219	1,742	2,151	2,031	941						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.09	0.08	0.11	0.11	0.05						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	809	720	989	989	450						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	3,028	2,462	3,140	3,020	1,391						
	単位あたりコスト ÷		円	70,419	72,412	69,778	120,800	92,733						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	3,028	2,462	3,140	3,020	1,391							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	55.6	活動指標(2)の15年度達成率%	100.2	15年度予算執行率%	94.4	・平成15年度については新設改良25本のほか、現場精査の結果不要と判断した標識の撤去工事を7本行ったため活動指標が当初計画に達しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・地域の交通状況や沿道状況の変化を良く見極めて標識の整理統合を行った。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H13 = 1174件 H15 = 1131件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・特になし。
	今後の予測	・施設の老朽化に応じた改修が必要になる。交通安全維持補修事業の中で施設の維持補修を行なう。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路利用者に道路の状況を知らせる効果は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:	
成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算が市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・大規模な老朽化などの改修計画が起工されなければ、交通安全維持補修事業の中で施設の維持管理を行なう。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成17年度からは整備事業は廃止し、交通安全維持補修事業で施設の維持管理を行う。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自発光式交差点鉦新設・改良				整理番号	620		枝番号	648				
担当部課名		都市整備部維持課		コード	620		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	648			
係名					交通安全施設係			上位施策名		No				
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		46年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条・第85号							
	区が管理する道路の利用者				(3) 道路法施行令第34条の3									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
夜間において交差点の所在を明示するため、点滅式の交差点鉦を新設する。また、老朽化した施設を改良する。				夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 新設・改良箇所数				(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 ÷ 交差点箇所数 × 100										
(2) 管理数値(設置交差点箇所数)				(2)										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		箇所	22	25	19	17	16						
	活動指標(2)		箇所	363	378	388	410	420						
	成果指標(1)		%	5.2	5.3	5.5	5.8	5.9						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,518	7,499	5,303	5,472	6,066	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成15年度実績内訳 新設8箇所 改良9箇所					
	(内)委託費		千円	11,518	7,499	5,303	5,472	6,066						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.47	0.34	0.28	0.29	0.32						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,227	3,058	2,518	2,608			2,878			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0			
	総事業費 + +		千円	15,745	10,557	7,821	8,080	8,944						
	単位あたりコスト ÷		円	715,682	422,280	411,632	475,294	559,000						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引: 一般財源 -		千円	15,745	10,557	7,821	8,080	8,944							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	89.5	活動指標(2)の15年度達成率%	105.7	15年度予算執行率%	103.2	ほぼ計画通りの事業を行なった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・交差点や道路の大きさによって、大型鉦と小型鉦機種を使い分けた。 ・事故の多い交差点、交差点中央が明るい交差点へは、中央設置型の他に停止線用の施設の設置を行なった。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 H3 658件 H13 1174件 H15 1131件
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間の交差点の交通事故防止やスピード抑制の対策として区民や警察から設置要望が多い。
今後の予測	配電型鈮から太陽電池型鈮への改良と太陽電池型鈮の新設を行なっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 夜間における交差点内の車両や歩行者に対して注意・啓発などの交通事故対策に効果がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行なう。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 道路工事が予定されている場合、工事の調整を事前に行い、同時施工することで道路復旧費用などの削減が見込まれる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 配電型の施設で老朽化しているものから、太陽電池型に改良していく。道路復旧範囲を少なくすることで、標準工事費の削減が見込まれる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・事故が頻発する交差点や中央付近が明るい交差点で中心に設置の出来ない場合は、状況に応じて停止線にも自発光鈮を設置する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・配電型鈮は引込柱、地中配線、発光機からなるが、太陽電池型機種へ更新時するときは引込柱と発光機のみを撤去し、地下配線部分は将来の道路改修工事時に併せて撤去することで、道路の掘削部分が少なく済み、本復旧費用の削減につながる。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図ることから、標準工事費の見直しを行なっている。また、太陽電池型鈮への切り替えと道路本復旧範囲を少なくすることで、経費の減が見込まれる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地点名標識板新設・改良				整理番号	621		枝番号				
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602					
係名		交通安全施設係				上位施策名	No						
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8項								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第2条、第45条、第85条								
	区が管理する道路の利用者				(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 信号機が設置された場所に、地点名の入った標識を設置や老朽化した標識の改修を行う。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に地点名や施設名等必要な情報を表示し、道路交通の安全性及び円滑性を確保する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 新設・改良数				(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 ÷ 区道路上信号機数 × 100									
(2) 管理数値				(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		枚	8		0		10	9	10			
	活動指標(2)		枚	434		0		434	439	443			
	成果指標(1)		%	0.0		0.0		63.5	63.5	64.4			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	756		0		777	787	873	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成15年度実績内訳 新設5枚 改修4枚 平成16年4月1日 設置交差点箇所数 132箇所 区道路上信号機数 208箇所		
	(内)委託費		千円	756		0		777	787	873			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.03		0.00		0.04		0.04			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	270		0		360	360			360
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0
	総事業費 + +		千円	1,026		0		1,137	1,147	1,233			
	単位あたりコスト ÷		円	128,250				113,700	127,444	123,300			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0
差引:一般財源 -		千円	1,026		0		1,137	1,147	1,233				
受益者負担比率 ÷		%	0.0				0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		90.0		活動指標(2)の15年度達成率%		101.2		15年度予算執行率%	101.3	
			ほぼ計画どおり事業をおこなった。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地点名標識板の取付必要箇所については、整備をほぼ終了している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の施設名などを地点名板にしている場合、その施設の名称が変わった時に変更の要望があった。
	今後の予測	今後は老朽化した地点名標識を順次改良と新設信号柱の整備を行なう。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:交通安全対策と直接関わりはないが、道路利用者に必要な情報を与えることにより交通の円滑化に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行なう。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:道路利用者に地域の名称を周知する施設でこれ以上の成果は望めない。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切でない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減はできない。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・既設の老朽化したFRP材質の地点名標識をアルミ材質へ順次改良していく。 ・新たに設置された信号柱は、必要に応じて整備していく。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図ることから、標準工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		白線整備			整理番号	622		枝番号					
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	649		
係名				交通安全施設係				上位施策名		No			
予算事業名				交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		36年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3号第8号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条・第45条・第85条						
	区が管理する道路の利用者				(3) 道路標識・区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
道路の舗装上のペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、磨耗した白線を更新する。				車両及び歩行者の通行区分を明確にして、道路利用者に対し案内及び警戒をうながすことにより、道路交通の円滑と安全を図る。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 白線施工延長				(1) 白線設置率 = 白線設置延長 ÷ 道路延長 × 100									
(2) 管理数値(白線設置延長)				(2)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		m	72,672	71,395	65,000	63,064	65,000					
	活動指標(2)		m	517,780	517,780	517,780	517,780	517,780					
	成果指標(1)		%	78	78	78	76	76					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31,446	31,391	31,200	30,752	31,200	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月1日 道路延長 684,512m				
	(内)委託費		千円	31,446	31,391	31,200	30,752	31,200					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.27	1.41	1.65	1.64	1.62					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,422	12,682	14,840	14,750			14,570		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	42,868	44,073	46,040	45,502	45,770					
	単位あたりコスト ÷		円	590	617	708	722	704					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	42,868	44,073	46,040	45,502	45,770						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	97.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	98.6	・計画通り事業を行なった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・交差点やカーブ部分について、白線による視覚的狭さくや白線内側に破線の設置を行なった。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H=1174件 H15 = 1131件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・白線磨耗箇所を更新するよう要望がある。 ・外側線歩道側の幅員が狭い箇所において引き直しの要望がある。
	今後の予測	・実施計画通り実施する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 車両及び歩行者の通行区分を明確にすることで、接触事故を防止し安全な通行を確保する効果大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行なう。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 緊急対応すべき白線設置を除き、要望件数をまとめて指示・施工することで事業費の大幅な増加が抑えられる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上に削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・白線による視覚狭さくや破線の設置は引き続き実施していく。 ・中央線が設置されている道路のうち、交通量が少なく生活道路として通過交通を抑制すべき道路は、車線と路側帯の幅員構成等交通管理者と協議しながら進めていく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図ることから、標準工事費の見直しを行なっている。また、新たな消去工法を導入するために予算見積りもりの増加が見込まれる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良				整理番号	623		枝番号				
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	650		
係名					交通安全施設係					上位施策名		No	
予算事業名					交通安全施設整備					コード		62100	
					交通安全の推進							6	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60		年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理						(1) 地方自治法第2条第2項第8項		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						(2) 東京都福祉のまちづくり条例		
	区が管理する道路を利用する視覚障害者等										(3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				視覚障害者が道路を通行する際の補助となる誘導ブロックを道路上に設置する。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。
活動指標名(式)				(1) 新設・改良枚数		(2) 管理数値(点字ブロック設置枚数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長 ÷ 道路延長 × 100	
										(2)			
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績		計画	年度		
指標	活動指標(1)		枚	1,041	934	500	527	500					
	活動指標(2)		枚	14,635	14,990	15,240	15,462	15,962					
	成果指標(1)		%	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,515	6,828	4,050	2,966	3,800	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16.4.1道路延長 684,512m (点字ブロック管理延長 = 管理数値 × 0.3)				
	(内)委託費		千円	5,515	6,828	4,050	2,966	3,800					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.22	0.31	0.21	0.16	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,979	2,788	1,889	1,439	1,799					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	7,494	9,616	5,939	4,405	5,599					
	単位あたりコスト ÷		円	7,199	10,296	11,878	8,359	11,198					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円		3,414		1,016					
		特定財源計 +		千円	0	3,414	0	1,016				0	
差引:一般財源 -		千円	7,494	6,202	5,939	3,389	5,599						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	105.4	活動指標(2)の15年度達成率%	101.5	15年度予算執行率%	73.2	・計画どおり事業を行なった。予算の執行率は、点字ブロックと舗装を行なうところ、新設箇所は点字シートを主に導入したため15年度予算執行率が下がった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・平成16年度実施計画の改定時に、17年度500枚、18年度以降300枚と事業量を見直しを行なった。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	視覚障害者数(身体障害者手帳交付数) S60.4=826人 H14.4=953人 H16.3=996人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・視覚障害者やその団体から駅周辺と公共施設から公共交通機関までの経路上に点字ブロックの設置要望がある。 点字ブロックの構造や設置方法によっては、公共交通機関への案内が分かりづらいという意見がある。
	今後の予測	・視覚障害者の社会進出を安全に進める手段の一つとして、今後も整備が必要である。 事業実施初期に整備した施設の改修が必要となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 誰もが安全に通行できる道路とするために、施設の設置は貢献度が高い。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行なう。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 点字ブロックを設置するにあたり、視覚障害者やその団体から意見を伺うことで更に成果向上ができる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	

	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	・区道路上の点字ブロックは、歩道が未設置の路側帯に設置されていることが多く、車両の通行にも耐えられる強度を必要とする。平成15年度から一般的な平板ブロックに代えて点字シートを採用している。今後も耐久性のある点字施設について、情報収集を行なって新技術を導入して事業効果を高める努力をする。		
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
17年度方針	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	・市場単価と見積り単価との整合を図ることから標準工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装				整理番号	624	枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4602	昨年度整理番号	651	
係名				交通安全施設係		上位施策名		No		
予算事業名				交通安全施設整備		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				1年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第2条、第45条、第85条					
	区が管理する道路の利用者				(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路のカーブ及び坂道のスリップ防止、また交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 新設・改良面積				(1) 整備対応率 = 施工累計面積 ÷ 道路面積 × 100						
(2) 管理数値(施工類計面積)				(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		m ²	1,442	1,337	1,400	1,337	1,400		
	活動指標(2)		m ²	23,470	25,759	27,159	26,744	28,144		
	成果指標(1)		%	0.7	0.8	0.8	0.8	1		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,603	10,895	11,200	12,596	12,600	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月1日 区道路面積 3,356,793m ²	
	(内)委託費		千円	12,603	10,895	11,200	12,596	12,600		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.51	0.49	0.59	0.67	0.65		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,587	4,407	5,306	6,026	5,846		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	17,190	15,302	16,506	18,622	18,446		
	単位あたりコスト ÷		円	11,921	11,445	11,790	13,928	13,176		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円		416		1,112		
		特定財源計 +		千円	0	416	0	1,112		0
差引:一般財源 -		千円	17,190	14,886	16,506	17,510	18,446			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	95.5	活動指標(2)の15年度達成率%	98.5	15年度予算執行率%	112.5	計画どおり事業を行った。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		資源再利用や環境への配慮から、すべり止め骨材にガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材の使用を検討した。平成16年度事業に導入し使用を予定している。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 H1 = 891件 H13=1174件 H15 = 1131件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・事故の発生する恐れのある交差点やカーブ部分に着色を施し、色彩の変化による事故防止要望が増えている。
	今後の予測	・既設の磨耗した舗装部分の改修と危険な交差点などの明示方法として要望が増える。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 交差点などの路面に変化をつけ、道路利用者の注意を喚起することで交通事故防止に効果がある。また、他の交通安全施設事業と複合的に実施することにより、効果が增加する。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行う。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 要望による一回のすべり止め施工範囲が小さいため、一回の施工コストが増加している。しかし、施工指示を数箇所まとめて行うことで、事業費の大幅な増加が抑えられる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費であり、これ以上の削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・資源再利用や環境への配慮から、すべり止め骨材に発生したガラスカレット入り骨材の使用していく。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図ることから標準工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良				整理番号	625		枝番号					
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	652			
係名					交通安全施設係			上位施策名		No				
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		6年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条・第85条							
	区が管理する道路の利用者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
老朽化した既存の歩車道分離防護柵(車道用ガードレールを歩道用として代用)を交通状況や周囲の景観に配慮した歩道用防護柵を更新改良する。				車両が歩道等へ逸脱するのを防ぐとともに、歩行者がみだりに車道横断することを抑制することにより、道路利用者の安全を確保する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 各年度毎の改良延長				(1) 改良率 = 改良延長 ÷ 防護柵延長 × 100										
(2) 平成6年度以降の改良実績				(2)										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績								
指標	活動指標(1)		m	991	974	700	654	700						
	活動指標(2)		m	10,772	11,869	12,569	12,523	13,223						
	成果指標(1)		%	29	32	32	34	36						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,699	19,768	14,000	13,994	16,100	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月1日 防護柵管理数値 36,505m					
	(内)委託費		千円	37,699	19,768	14,000	13,994	16,100						
	職員数(正規 非常勤)		人	1.53	0.89	0.74	0.74	0.83						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,761	8,005	6,656	6,656			7,465			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0			
	総事業費 + +		千円	51,460	27,773	20,656	20,650	23,565						
	単位あたりコスト ÷		円	51,927	28,514	29,509	31,575	33,664						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円		11,658		8,597						
		特定財源計 +		千円	0	11,658	0	8,597			0			
差引:一般財源 -		千円	51,460	16,115	20,656	12,053	23,565							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	93.4	活動指標(2)の15年度達成率%	99.6	15年度予算執行率%	100.0						
			・計画どおり事業を行った。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・防護柵の種類と構造を整理統一し、改良時の整備経費の軽減を進めている。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H6 = 749件 H13 = 1174件 H15 = 1131件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・車両の抜け道の歩行者安全、速度抑制、違法駐車防止の対策として要望がある。しかし、道路幅員が狭く設置不可能な路線が大半である。設置に対しては、宅地の出入りなど沿道住民の生活に与える影響が大きいため地域全体の賛同が得られにくい。
	今後の予測	・実施計画の途中であり、施設の老朽状況を考慮の上、路線毎の改良整備を進める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者や自転車など道路利用者が安心して通行できる道路環境を整備する上で効果は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行う。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 防護柵の老朽化路線で道路工事が予定されている場合、一括で設計発注することで事業費の削減が見込まれる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積り単価での標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も防護柵の種類と構造を整理して統一しながら改良を行っている。また、道路工事などと調整して改良することにより事業費の削減や工事期間などの短縮に努める。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積り単価との整合を図るため、標準工事費の見直しを行なっている。予算の増加が見込まれる。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等				整理番号	626		枝番号					
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4602		昨年度整理番号	653			
係名					交通安全施設係					上位施策名		No		
予算事業名					交通安全施設整備					交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)							
	区が管理する道路の利用者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面表示の補完として、道路利用者の注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。				道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 立看板設置数				(1) 看板設置度 = 道路延長 ÷ 看板管理数										
(2) 管理数値(設置累計枚数)				(2)										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	枚	113	154	130	149	150							
	活動指標(2)	枚	1,581	1,853	1,983	2,069	2,219							
	成果指標(1)	m/枚	421	369	345	331	308							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,308	1,429	1,524	1,474	1,695	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月1日 道路延長 684,512m					
	(内)委託費		千円	0	1,429	1,524	1,474	1,695						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06	0.06	0.08	0.08	0.09						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	540	540	720	720	809						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	1,848	1,969	2,244	2,194	2,504						
	単位あたりコスト ÷		円	16,354	12,786	17,262	14,725	16,693						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	1,848	1,969	2,244	2,194	2,504							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	114.6		活動指標(2)の15年度達成率%	104.3		15年度予算執行率%	96.7					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		立看板の発注契約方法を単価契約にし、立看板設置までの時間を短縮した。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3 = 658件 H13=1174件 H15 = 1131件	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	交通規制や標識だけでは周知しきれない情報を徹底する上での設置要望が多い。その反面、景観が悪くなる。	
	今後の予測	老朽化した看板の交換と交通安全施設整備事業を補完することで需要が高まる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 道路利用者に直接注意を呼びかける手段として、他の交通安全施設と合わせて実施することによる効果大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)		理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		理由または具体的内容: 標識業界(道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を行う。)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)		
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容: 立看板の形状、設置場所や要望内容をよく精査して効率よく設置していく。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 構造的に最小限の施設であり、これ以上単価コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区が管理する生活道路上における交通事故、スクールゾーンへの車両の進入、交通違反常習箇所などに区民や警察などから設置要望が高くなっている。このことから、今後も看板の表示方式の変更による視認性の向上や設置場所に合った形状の工夫により、立看板の効果を高める。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 立看板設置要望が多く、現行予算額では需要に応えられないので、次年度は設置数量を増加する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修				整理番号	627		枝番号			
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	654	
係名					街路灯係			上位施策名		No		
予算事業名					街路灯維持補修		コード	60700		交通安全の推進		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35年度		根拠法令等			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。							
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365日) - (街路灯修理件数)) / 街路灯管理数 × 365(日) (2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		灯	24,890	24,895	24,923	24,920	24,948				
	活動指標(2)		件	1,308	1,324	3,468	1,314	1,900				
	成果指標(1)		%	99.99	99.99	99.96	99.99	99.97				
	成果指標(2)		%	5.26	5.32	13.91	5.27	7.62				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	210,248	211,864	209,440	204,178	208,287		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	86,631	92,408	102,821	101,489	81,803				
	職員数(正規 非常勤)		人	4.22	4.23	3.77	3.77	3.77				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	37,955	38,045	33,907	33,907	33,907				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	248,203	249,909	243,347	238,085	242,194				
	単位あたりコスト ÷		円	9,972	10,039	9,764	9,554	9,708				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	248,203	249,909	243,347	238,085	242,194					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	37.9	15年度予算執行率%	97.5				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			地図情報システムの検討を継続している									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	塗装・ランプの交換等は定期的かつ故障等について実施回数や発見率は大きな変化はない。 街路灯管理数値；H5年24159灯、16年24895灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路照明は区民の生活スタイルの多様化(夜の活動大)により、安心安全のため必要項目となっている。
	今後の予測	現状を維持していく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由：区による公平かつ効率的な実施計画と民間による進んだ技術・効率的な作業との融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容：維持補修の地域や程度の隔差を生じない、公平な計画や統一的判断と、民間による進んだ施行技術・効率的な作業方法の採用
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容：修理単価等は土木共通のものを使用し成果の向上の余地はない。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：公共的である。受益者は特定できない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：業者による作業であり、そのコストは工事単価として精査されたものである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 設置後の維持補修なくしては、安全やランプの不点等により、機能を維持されないため今後も同様な事業量が必要となる。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 故障や劣化を放置することのできない重要な設備が必要になる。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現状を的確・性格・性格・迅速に把握し、よりの確な維持を行う。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設				整理番号	628		枝番号			
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	655	
係名					街路灯係					上位施策名		No
予算事業名					街路灯新設・改修					交通安全の推進		6
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		(2) 杉並区街路灯設置基準						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		街路灯を新設する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		街路灯を新設し、安全性を向上する。				
活動指標名(式)		(1) 街路灯新設数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理数 / (区道延長 × 有効率 / 30)				
		(2) 街路灯設置要望件数						(2) 新設実績数前年度比率				
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	灯	34	32	28	28	28					
	活動指標(2)	件	26	39	40	26	40					
	成果指標(1)	%	97.81	97.70	97.81	97.75	97.78					
	成果指標(2)	%	100.00	94.12	87.50	87.50	100.00					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,344	4,767	5,011	4,513	5,350	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	4,317	4,729	5,008	4,503	5,200				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.09	0.10	0.08	0.08	0.08				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	809	899	720	720	720				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	5,153	5,666	5,731	5,233	6,070				
	単位あたりコスト ÷		円	151,559	177,063	204,679	186,893	216,786				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	5,153	5,666	5,731	5,233	6,070					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%	65.0		15年度予算執行率%	90.1			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		現状契約のなかで、工事期間を含む完成までの期間を業者の協力を得ながら行っている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	S60年4791灯 H8年16887灯 H12年24502灯 H15年24895灯により全路線に街路灯を設置済みとなったが、大規模開発や道路の改修等で一定な数量の新設が必要
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路照明は区民の生活スタイルの多様化と相まって、安心安全のための必要項目となっている。
	今後の予測	道路新設等に対応するため、現状計画数量を維持していく必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 区による公平かつ効率的な実施計画と民間による進んだ技術・効率的な作業との融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 要望又は新設道路計画を受け、設置基準による公平かつ効率的な実施計画と民間による進んだ施行技術・効率的な作業方法の採用
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 街路灯は道路工事の標準を定めて統一的なものとし、経費は精査した工事単価をもちいている。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者は特定できない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 街路灯1基あたりの経費は一定のため。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新設要望から新設完了までの時間の短縮。現在は業者との契約を2回ないし3回に別けている関係から、まとめて業者に依頼することとなる。契約期間をオーバーラップする等の検討を行い、設置即工事依頼が出来るようにする。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 監督員の不足、一時にまとめて工事を行うことの業者の要望、一件々の工事は工事費の増加傾向となる。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	現状維持により、より分散して、こまめな発注依頼による新設の完了までの時間を短縮していく。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯改修				整理番号	629		枝番号				
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	656			
係名 街路灯係					上位施策名				No				
予算事業名 街路灯新設・改修					コード	60850		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				35 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区道利用者				(2) 杉並区街路灯設置基準								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した街路灯を改修する。 ポール・アーム改修は、設置後30年経過したものを対象とし、器具改修は設置後15年経過したものを対象とし施工を行う。				(3) 道路法第42条								
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯を新設し、安全性を向上する。								
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 街路灯ポール・アーム改修率 = 街路灯ポール・アーム改修数 / 街路灯ポール・アーム改修計画数 (2) 街路灯器具改修率 = 街路灯器具改修数 / 街路灯器具改修計画数									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		灯	183	194	350	130	350					
	活動指標(2)		灯	1,052	1,239	1,000	1,016	1,000					
	成果指標(1)		%	122.00	129.33		81.43						
	成果指標(2)		%	10,520.00	123.90		101.60						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	116,057	114,966	159,229	154,919	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	113,741	112,268	155,840	153,249						
	職員数(正規 非常勤)		人	2.32	2.29	2.61	2.94					2.94	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	20,866	20,596	23,474	26,442					26,442	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 + +		千円	136,923	135,562	182,703	181,361					26,442	
	単位あたりコスト ÷		円	748,213	698,773	522,009	1,395,085					75,549	
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0	0
差引:一般財源 -		千円	136,923	135,562	182,703	181,361	26,442						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	37.1	活動指標(2)の15年度達成率%	101.6	15年度予算執行率%	97.3					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			街路灯の倒壊、落下を防ぐ為、点検を重視し、安全確保を努める。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	街路灯ポールアーム改修数; H5年160灯、H15年130灯。 街路灯器具改修; H5年284灯、H15年度1016灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の生活に安全安心のため必要であり、正常な機能の維持がされていくことを望んでいる。
	今後の予測	改修時期を迎える街路等が多くなっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 区の計画と民間の技術・作業方法の融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区による日常の専門経験的な点検とそれによる現状維持により、効率的な実施計画と民間による進んだ技術と効率的な作業方法の採用
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 街路灯は全て同一の型式を定め、改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すべての道路利用者を対象に行う事業であるため、受益に偏っていない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 業者による作業であり、コストは工事単価として精査されたものである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量の増大時期を向かえ、真に改修の必要なものを選別し、年度改修の必要なものを選別し、年度改修数を平均化していく。		
17年度方針	(2) 理由 上記の方法を採り入れていく。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯補修				整理番号	630		枝番号					
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	657			
係名					街路灯係					上位施策名		No		
予算事業名					民有灯助成(維持補修)					交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第232条の2							
	すべての道路利用者				(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。				私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 私道街路灯管理数				(1) 私道街路灯稼働率 = ((私道街路灯管理灯数 × 365日) - (私道街路灯修理件数)) / 私道街路灯管理数										
(2) 私道街路灯修理件数				(2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理灯数										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	灯	8,256	8,257	8,283	8,298	8,324							
	活動指標(2)	件	1,047	708	1,210	900	1,013							
	成果指標(1)	%	99.97	99.98	99.96	99.97	99.97							
	成果指標(2)	%	12.69	8.57	14.61	10.85	12.17							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,001	34,162	33,767	33,606	23,449	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	28,414	33,661	33,691	33,537	22,675						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.68	0.55	0.55	0.55						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,396	6,116	4,947	4,947	4,947						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	35,397	40,278	38,714	38,553	28,396						
	単位あたりコスト ÷		円	4,287	4,878	4,674	4,646	3,411						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	35,397	40,278	38,714	38,553	28,396							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.2		活動指標(2)の15年度達成率%	74.4		15年度予算執行率%	99.5					
		活動指標(2)については、受動的な故障発見時の対応のため実績値による。												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		塗装、ポールの材質を見直したものを採用している。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約24000灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきたが、現在は一定化状態(修理委託 約2000件/年)にある。管理数値平成5年度8313灯、平成16年度8257灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障の放置は許されず、迅速な対応が求められている。
	今後の予測	現状と変わらず。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 区の計画と民間の技術・作業方法の融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区による日常の専門、経験的な点検とそれによる現状把握により、効率的な計画と民間による進んだ技術と効率的な作業方法の採用
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 街路灯は全ての同一の型式を定め、改修工事単価等を定めているため成果の向上はない。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 通行は区民全員(不特定)のため受益者は特定できない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事単価と工種等がきまっているためコスト減はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の放置は許されない設備ではあるが、故障の発見は区民に頼らざるを得ない。区民の早い通報を求める。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の理解, 関心が必要。街路灯の重要性や修理等のシステム等の情報を提供していく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	対象街路灯期に変化がない。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成				整理番号	631		枝番号			
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	658	
係名		街路灯係				上位施策名		No				
予算事業名		民有灯助成(維持補修)		コード	61300		交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				36 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 申請に基づき私道街路灯電気料の支払いなどを行う。				(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 電気料助成灯数				(1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数								
(2)				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		灯	8,573	8,555	8,768	8,578	8,702				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,999	24,329	26,893	21,874	26,705	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.54	0.49	0.44	0.44	0.44				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,857	4,407	3,957	3,957				3,957
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	31,856	28,736	30,850	25,831	30,662				
	単位あたりコスト ÷		円	3,716	3,359	3,518	3,011	3,524				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	31,856	28,736	30,850	25,831	30,662					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		97.8		活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		81.3		
		電気料金の値下がりのため、残額が生じた。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		電気料金は一括前払いサービスを活用しているため、大きな変動はないと考えられるが、燃料費調整による電気料金の増減は見通しが立たない。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	電気料助成灯数 平成10年 8,598灯 平成15年 8,578灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特にない
	今後の予測	宅地開発等による新設私道の増加にともない、私道街路灯の新設も若干の伸びがあり、電気料金の増加もありえる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 防犯及び交通安全に大きく貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 区内の街路灯料金の一括前払いによる経費削減が可能
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	理由または具体的内容: 私道ではあるが、公共性の高い道路について、地域自治会、住民団体等が街路灯を設置・所有する安全・安心のまちづくり活動に対し、区が街路灯の電気料を助成する。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 公衆用街路灯の電気料金は、公共料金による契約のため成果の向上はない。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すべての私道利用者を対象に行う事業のため、受益者を特定することは困難であり偏ってはいない。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 一括前払サービスの契約料金により、通常の電気料金より割安になっている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 電気料金の助成は町会・自治会へ行うため、多くの一般区民は、その1灯もしくは会の助成金額を知らない。料金や他の事項をより多く知らしめていく必要がある。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	新設箇所については、必ず電気料金やその他の設定について十分説明する。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	632		枝番号						
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	659				
係名					街路灯係					上位施策名		No			
予算事業名					民有灯助成(建設補助)					交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第232条の2								
	すべての道路利用者				(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				申請に基づき私道街路灯を新設する。								事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)		私道街路灯を新設し、安全性を向上する。
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 私道街路灯新設数値				(1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数											
(2) 私道街路灯設置要望件数				(2) 新設実績数前年度比率											
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)		灯	43	30	26	36	26							
	活動指標(2)		件	40	39	40	38	40							
	成果指標(1)		%	165.38	115.38	100.00	138.46	100.00							
	成果指標(2)		%	126.47	69.77		120.00								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,306	1,885	2,410	2,390	2,422	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 8						
	(内)委託費		千円	2,306	1,885	2,410	2,390	2,422							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	450	360	360	360	360							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	2,756	2,245	2,770	2,750	2,782							
	単位あたりコスト ÷		円	64,093	74,833	106,538	76,389	107,000							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0		
差引:一般財源 -		千円	2,756	2,245	2,770	2,750	2,782								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	138.5	活動指標(2)の15年度達成率%	95.0	15年度予算執行率%	99.2	私道街路灯は区民の助成申請によるものである。						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			申請から工事完了まで、長期間待たせることのないように、可能な範囲で調整した。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなっているが(H1年8307 H8年8256 H15年8256 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の要望はある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の生活に関し、安全安心の関心が高まり、街路灯の必要性を強く感じている。
	今後の予測	現状に変わらず。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安心安全について、夜間における効果は大きく、他に変えがたい
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:区による公平かつ効率的な実施計画と民間による進んだ技術・効果的な作業との融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:助成申請を受け、その可否を決定し工事は、専門業者が行う。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:街路灯は道路工事の標準を定め統一的(同一構造等)なものとし、経費は精査した工事単価を持っている。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者は特定できない	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:街路灯1基あたりの経費は一定のため	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 申請により設置(新設)というシステムにより、現在無関心等から申請(設置)していない私道も多く、今後も斬次申請され続けものと考えられるので、本事業を継続していく必要がある。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 私道は区の道路管理権がなく、また「便利帳」等区の公報に対し限界がある。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 道路が暗い等の要望に対し、私道については「助成」について説明し要望者並びに近隣住民の理解を得て、基準に照し合せ、新設していく。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路改修				整理番号	633		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	660	
係名 街路灯係					上位施策名				No		
予算事業名 民有灯助成(建設補助)					コード	61300		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				46 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 地方自治法第232条の2						
	すべての道路利用者				(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。ポール改修は設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ施行する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯を改修し、安全性を向上する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 粗銅街路灯ポール改修数				(1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数							
(2) 私道街路灯器具改修数				(2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		本	26	25	40	18	40			
	活動指標(2)		件	87	87	400	371	400			
	成果指標(1)		%	130.00	125.00	100.00	45.00				
	成果指標(2)		%	91.58	91.58	100.00	92.75				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,995	9,135	30,632	29,795	30,632	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	8,785	8,908	29,610	29,052	29,610			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,619	1,619	1,619	1,619	1,619			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	10,614	10,754	32,251	31,414	32,251			
	単位あたりコスト ÷		円	408,231	430,160	806,275	1,745,222	806,275			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	10,614	10,754	32,251	31,414	32,251				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	45.0	活動指標(2)の15年度達成率%	92.8	15年度予算執行率%	97.3			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			必要な改修を進め、安全を向上させる。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時の設置灯数が多く、この時期のものの改修を迎えつつある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の生活における安全安心のため、正常な機能の確保は当然のことと考えている。
	今後の予測	改修時期となる街路灯の増大がある
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安心安全について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 区の計画と民間の技術・作業方法の融合
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区によるに日常の専門、経験による点検とそれによる現状把握による効率的な計画と民間による進んだ技術と効率的な作業方法
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 街路灯は全て同一の型式に定め改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 通行は区民全員(不特定)のため受益者を特定できない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 劣化した部材等により、補修サイクルを延ばす。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、紙台帳による処理をパソコンによる地図データベース化により、よりきめ細かな日常管理、劣化予測等を活用し効果的な事業推進を図る。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地図データベース化はスタンドアロンでこそ独自のプログラムが使える効率的な業務支援システムとなるが、一歩進めた区全体のGISに組み込むべきとする考えもあり、そのGISが進展しない。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 地図データベースについて、GISへの対応を含めたスタンドアロンによるシステムを検討する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通学安全指導業務				整理番号	742		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局学校運営課		コード	600204	連絡先電話番号	1615		昨年度整理番号	787	
係名		職員係			上位施策名				No		
予算事業名		学校人事・給与事務		コード	72000	交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				60 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	区立学校に通学する児童				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 行財政改革実施プランに基づき、学童擁護職員は退職不補充として減員する。 学童擁護職員のない小学校の通学安全指導業務をシルバー人材センターに委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 当下校時に児童を安全に誘導し、事故発生を未然に防ぐことで、児童が安心して通学できるようにする。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 委託学校数				(1) 交通事故発生件数							
(2) 委託ポイント数(通学安全指導員の立つポイント数)				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		校	26	27	29	29	31	35	82.9	
	活動指標(2)		所	77	80	88	88	96	109	80.7	
	成果指標(1)		件	0	0	0	0	0	0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	85,777	84,688	98,324	88,731	105,894	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	85,777	84,688	98,324	88,731	105,894			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.31	0.10	0.10	0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,788	899	899	899			899
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	88,565	85,587	99,223	89,630	106,793			
	単位あたりコスト ÷		円	3,406,346	3,169,889	3,421,483	3,090,690	3,444,935			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	88,565	85,587	99,223	89,630	106,793				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	90.2	委託は学童擁護職員の退職との関係で発生するため、計画と実績に大幅な違いが生じることはほとんどない。 毎年1~2校程度の新規委託となっている。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			要望のあった既委託校の通学安全指導地点について、現地確認のうえ増設した。 学童擁護職員の退職に伴う欠員分について新規委託を進めているため、予算は年々増額となっている。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	信号機や横断歩道、ガードレール等の整備のほか、安全な通学路の指定等の環境整備が進んでいる反面、交通量の増加により危険度が増している。 学童擁護職員の退職に伴い、シルバー人材センターへの委託校数・委託ポイント数が年々増えている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学時の安全確保に最大限配慮してほしいという要望がある。 最近各地で発生している児童に危険が及ぶ事件により、通学時以外の部分での児童の安全についての要望が高まっている。
	今後の予測	委託学校数の増加及び学校及び保護者からの要望に伴う通学安全指導地点の増加が予想され、事業規模は大きくなると考えられる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 通学安全指導員が配置されている箇所での大きな事故報告は受けておらず、児童の安全確保に寄与していると考えられる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由: 行財政改革実施プランに基づき、随時委託化を進めている。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 学童擁護職員の退職に伴い、通学安全指導業務をシルバー人材センターに委託している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 委託学校数は今後も増加が見込まれる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 児童全員の通学路での安全確保に関する事業であり、受益者負担にはなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 学校ごとの通学時の実態を考慮しながら、通学安全指導員が立つポイント数や1日あたりの委託時間を見直す。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委託化を計画どおり進めていく。 学校弾力化による指定校以外から通学する児童の状況、通学路の状況等をふまえ、通学安全指導地点の増設や、より必要度の高い地点に配置するなどの見直しを図っていく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 見直しにより、既に通学安全指導員を配置している地点の廃止が生じる場合、保護者からの反対が予想される。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 学童擁護職員の退職に伴う欠員に対して委託を進めていくので、委託校数の増加が見込まれる。 17年度の新規委託校は1校を予定している。 既委託校から通学安全指導地点の増加の要望があるため、委託ポイント数の増加が予想される。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立小学校の通学路の指定・整備				整理番号	762		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局学務課		コード	600301		連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	806	
係名		学事係				上位施策名			No			
予算事業名		通学路の設置管理		コード	73600		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				38年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 交通安全対策基本法第4条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法、同施行令							
	区立小学校児童				(3) 杉並区立小学校の通学路設定要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 歩車道の区別があるなど、児童が主として登下校するのに適した道路を通学路に指定する。東電広告(株)が管理する電柱に「文」標識を取付け、通学路である旨を自動車等の運転手に周知する。また、時間規制のある通学路上にスクールゾーン標示板(バリケード)を設置できるようにするため、区立小学校に配布する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 通学路標識の取り替え組数				(1) 通学路標識の取替え組数								
(2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数				(2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		組	737	975	968	967	872				
	活動指標(2)		基	9	10	59	59	9				
	成果指標(1)		人	9	7	0	12	0				
	成果指標(2)		%	98	100	100	100	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,469	3,201	3,669	3,669	3,004		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度の事業予算には、インセンティブ予算として、バリケード50基分488千円が計上された。		
	(内)委託費		千円	2,167	2,867	2,846	2,846	2,564				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.42	0.30	0.33	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,047	3,777	2,698	2,968	2,698			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	6,516	6,978	6,367	6,637	5,702				
	単位あたりコスト ÷		円	8,841	7,157	6,577	6,863	6,539				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,516	6,978	6,367	6,637	5,702					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	99.9	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	100.0		通学路の安全確保に関連する標識の作成取付け、バリケードの作成等は、予算見積どおりの執行が達成された。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		通学路標識交換のサイクルは5年毎から8年毎へと修正変更しており、耐久性を考慮するとこれ以上の交換サイクル延伸は困難である。また、16年度予算には、15年度インセンティブ予算として計上されていたバリケード50基分が計上されていないため、その分も含め、約600千円の削減となっている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に入り、車が著しく増加したことから、通学路の交通安全を確保する必要が生じ、通学路の設定や交通規制が行われた。現在も、学校周辺で交通規制が行われているが、幹線道路の渋滞を回避した車の増加と共に、危険も併せて増加しつつある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学路で交通規制がなされているにもかかわらず、抜け道として車が進入してくるので危険。マンション建設で工事車両が通行するので、通学路を変更してほしい。 違法な車の進入を防止するため、バリケードを配布してほしい。 バリケードの設置が時間どおりに置かれていないので、置かないでほしい。
	今後の予測	増加する車両に対し、道路整備が追従できず、渋滞する幹線道路から生活道路に流入してくる車両が年々増加する。また、児童生徒をめぐる様々な事件が多発する中で、通学時における危機対策の再構築が求められる。今後、「学校希望制度」の定着と「適正配置」の進展とともに児童の通学ルートに変化が生じ、学校及び保護者から通学路の新設・変更についての要望がこれまでよりも多く寄せられる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 通学路の指定・整備を行うことで、学校が行う児童に対する登下校時の指導と「文」標識やバリケード設置による運転者への注意喚起で、交通安全を確保できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 登下校時の児童の安全を確保する視点から地域の自治会やボランティア、シルバー人材センター等に交通規制時間帯でのバリケードの出し入れ管理を依頼しており、貴重なマンパワーを得ている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の設定不可	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 「文」標識の取り替えサイクルを見直した(5年 8年)が、標識の材質・耐用年数からすると限界である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 通学路の安全確保については、従来の交通事故の防止に加え、防犯や防災といった視点に立った事業の再構築が望まれることから、通学路の実態把握を行い、通学路沿道の整備や地域での見守りなどの対策を講じていく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の通学路の交通安全に関わる部門(教育委員会、道路管理者、警察署等)だけでは対応できないため、危機管理・まちづくり・地域振興などに関わる部門との調整及び連携の強化を図る必要がある。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 通学路標識の設置やバリケードの作成配布といったハード面での整備は、学校・地域等の要請があれば引き続き行っていく。破損や腐食等の交換業務を適正に行うこと以外では、「学校安全マップ」の充実等、やはりソフト面での啓発的な事業展開を図って行く必要がある。また、適正配置の進捗に伴い、通学区域の変更による通学路の見直しについても随時検討・着手して行くものとする。			